

立川飛行場への陸上自衛隊V-22オスプレイ飛来について（回答）

立川飛行場への陸上自衛隊V-22オスプレイ飛来について（令和5年1月30日）により要請された標記について、下記のとおり回答します。

【1について】

陸上自衛隊V-22オスプレイの飛行地域の拡大に当たっては、V-22オスプレイが飛来し訓練を行う施設の関係自治体に対して、訓練の概要等をご説明しているところ です。

一方で、自衛隊が日頃から行っている飛行訓練等については、直接、住民を対象とした情報の提供や説明会等はこれまでも行っておらず、今般のV-22オスプレイの立川駐屯地への飛来についても、これらを実施することは考えておりません。

【2について】

陸上自衛隊V-22オスプレイが、場周経路上において転換モードで飛行する場合はあり、離陸及び着陸を最も安全、確実に実施できるタイミングでモード転換を行います。具体的な転換モードへの切り換え地点については、気象状況などの影響を受けるため予めお答えすることは困難です。

【3について】

自衛隊が日頃から行っている訓練等による航空機の飛行情報については、例えば、地上からのレーザー光線の照射といった、飛行の安全に支障を及ぼしかねない行為を防ぐため、従前から逐一地元事前に提供しているわけではありません。

陸上自衛隊V-22オスプレイについても、公表することは予定しておりませんが、立川駐屯地に初めて飛来する際は、事前に具体的な日時などをできる限り情報提供させていただくこととし、1月25日、御市を含む関係自治体に日時、機数等をご連絡したところです。